

秋葉神社の昔



秋葉神社
「表」

『想像』
秋葉神社は、防火の神様を祭っています。人々は火事が起こらないように、わがって建てたと思います。理由は、鍛冶屋で火を使うし、木造の家が多くあったからです。
もう一つは疫病神を寄せ付けない力ももっていたと言われていたので秋葉神社を立てたと思います。

『事実』
秋葉神社は、今は小さいが昔は大きかった。秋葉神社は火の神様を祭るものでした。



「ほくは、秋葉神社にすんでいるノラネコだよ。秋葉神社のことを教えてあげる。」

秋葉祭り



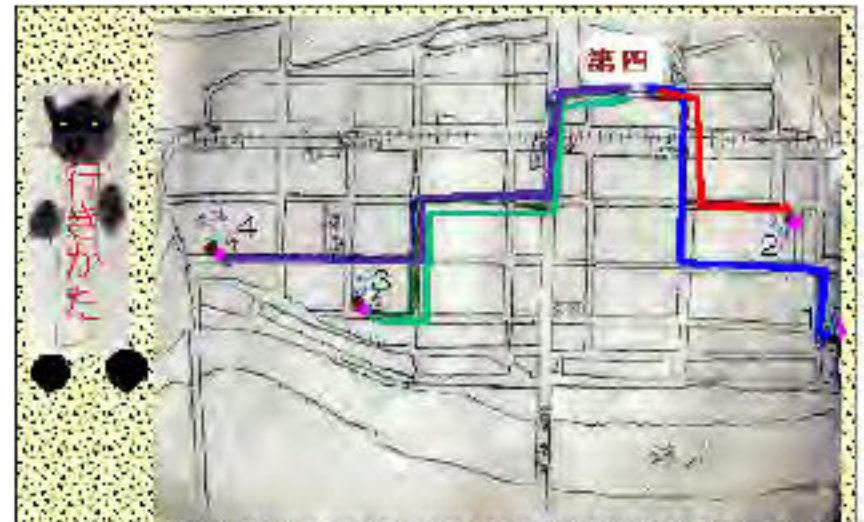
昔の秋葉祭りの内容は、上町はわかりませんが、同じ秋葉神社を奉ってある高岡郡淀村別杖では、鼻高天狗のうしろから、長刀、弓、鉄砲、白熊、黒熊、鳥毛、神輿などの物を持った人達と、少年達の踊り子がゆっくり行きます。そして、鳥毛投げや太刀踊りが行われています。



「秋葉祭りでは2mもある鳥の羽のついていたほうを2人の大人が投げ合うという行事があるんだよ。」



「これはあまり教えないことだけど教えてあげる。」



秋葉神社は、上町に、四つあります。
1つ目は、青色の道を行くと着きます。
2つ目は、赤色の道を行くと着きます。
3つ目は、緑色の道を行くと着きます。
4つ目は、紫色の道を行くと着きます。



「これは秋葉神社へ行く道だよ！
ほくがよく知ってるのは2つ目の秋葉神社だよ。」

秘密メモ

高知城山田町では、1854年12月の安政の大地震で出火のさい秋葉山の木札によって類焼を免れた話が記されています

龍馬の遊び



龍馬が子供のころ二つ目の秋葉神社であそんでいた想像画です。

龍馬と秋葉神社の関係

龍馬の家が秋葉神社の近くだったので龍馬は、子供の頃は、町人の子供とも一緒に遊んでいたのではないかと思います。



「龍馬は秋葉神社で遊んでいたということが記されているよ。」